

「アーカイブ構築と運用に関するセミナー」開催要項

1. 開催の主旨

NPO 知的資源イニシアティブ（代表理事：杉本重雄筑波大学教授、以下 IRI と略）では、日本の知的資源の発掘・蓄積・活用に関わる啓発・普及事業に設立以来取り組み、そのうちのひとつであるライブラリー・オブ・ザ・イヤー（略称 LoY）は、関係者の評価も得て、社会的な認知も定着しています*。このたび IRI は、こうした活動の一環として、社会的関心が高まっているデジタルアーカイブの構築に関わる入門セミナーを開催することにいたしました。

近年、国レベルでも総務省が「知のデジタルアーカイブ」構想を提起するなど、地域資料や地域の文化資源、自治体の記録などを収集・蓄積（アーカイブ化）し、後世に伝えるだけでなく、まちおこしや教育・産業等の情報資源として活用しようとする動きが急速に高まっています。2011 年 LoY 大賞を受賞した町立図書館のある小布施町は、こうした地域の文化資源を活用してまちおこしに成功した例として広く知られています。しかし、多くの自治体では、地域文化資源活用の基盤となる（デジタル）アーカイブを、どのように構築し、利用したらいいのか、暗中模索の状態にあるのではないのでしょうか。

そこで、もともと図書館、ミュージアム、資料館等に属する専門家が中心メンバーである IRI が、図書館資源を利用した産業振興に実績のあるビジネス支援図書館推進協議会の協力を得て、主に自治体の政策担当者や議員、町おこしに関心のある民間団体、実際に実務を担当する図書館員・資料館職員などを対象に専門セミナーを企画し、各地域におけるアーカイブまたはデジタルアーカイブの構築に貢献したいと考えて開催する運びとなりました。

* IRI の諸活動については、下記ホームページをご参照ください。

<http://www.iri-net.org/>

2. 日時

2012 年 10 月 29 日（月）午後 1 時 30 分～6 時 45 分

3. 場所

千代田区立日比谷図書文化館スタジオプラス（小ホール）（東京都千代田区）

4. 受講対象者

デジタルアーカイブ構築に関わりのある（興味・関心のある）方

- ・ 公共図書館員、博物館・資料館等学芸員
- ・ 地方公務員

- ・地方議会議員
- ・アーカイブ等関連事業者、ほか

5. 定員

50名

6. 参加費用

2,000円（1名につき）

7. 申込受付

知的資源イニシアティブ（IRI）ホームページ

受付開始：2012年9月26日（水）～

8. 主催等

主催：NPO 知的資源イニシアティブ（IRI）

協賛：ビジネス支援図書館推進協議会（BL）

公益財団法人図書館振興財団

9. プログラム内容

テーマ「デジタルアーカイブ構築をどのように行えばよいのか」

1) セミナーの趣旨と本日のプログラムの概要説明（13:30-13:45）（15分）

IRI 岡本明理事

2) 基調講演：アーカイブの考え方と基本機能（13:45-14:25）（40分）

石川徹也 東京大学特任教授（IRI 理事）

3) 各地の事例紹介（14:25- 17:45）（3時間20分 *休憩15分含む）

a.事例は、予定される内容です。

b.セミナーの順番は、暫定です。

※a.b.共に、当日変更になる場合もあります。ご了承ください。

司会：大串夏身 昭和女子大学教授

① 大規模デジタル化における役務の実例（30分） (株)ムサシ

② デジタル化の機材に関して（30分） (株)マイクロテック

③ 長期保存のためのマイクロ化デジタル化に関して（30分） (株)ニチマイ

①～③への質疑応答（20分）

☆ 休憩（15分）

④ 文化財のデジタルアーカイブとバーチャルリアリティ（30分） 凸版印刷(株)

⑤ 画像品質評価の方式に関して（30分） (株)寿限無

④～⑤への質疑応答（15分）

4) 国レベルのデジタルアーカイブの動向（17:45-18:30）（45分）

国立国会図書館電子情報部 大場利康電子情報流通課長

以上